

拠出金名： 西アフリカ諸国経済共同体拠出金

国際機関等名	西アフリカ諸国経済共同体 (略称) ECOWAS					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局アフリカ第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	12,200	100		1\$ = 122円	(2002年)	100
平成13年度	10,700	100		1\$ = 107円	(2001年) 5.9 (注2)	100
平成12年度	10,500	100		1\$ = 105円	(2000年)	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2001年のもの (注2)加盟国分担金以外の拠出のみ 記載。年度によって拠出国(機関)及 び金額も異なり、上位ドナーは一定で はない。	
1位	EU		63.0			
2位	世銀		8.0			
3位	国連環境計画		6.0			
4位	日本		5.9			
5位	仏		2.0			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
西アフリカ15ヶ国が加盟するECOWASの活動は、地域の安定と発展に資するアフリカ諸国自身の主体的 努力として、国際社会の評価を集めている。コートジボワールへのECOWAS平和維持軍派遣及びリベリア 調停活動等、紛争解決等に向けた活動を近年特に活発化させているECOWASに対する支援は、「平和の 定着」を対アフリカ協力の中心に据える我が国として重要。また「アフリカ開発のための新パートナーシ ュプ(NEPAD)」の西アフリカ地域における実施機関として、TICADとNEPADの連携を促進する我が国とし て、ECOWASの機能を高く評価している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価。						
域内経済統合の推進という設立当初の趣旨のみならず、発展には地域の平和と安定が不可欠であるとし て、紛争解決関連分野での活動を強化。99年に採択された「紛争予防・管理・解決・平和維持・安全保障 メカニズム」に基づき、紛争予防を目的とした「監視センター」の立ち上げや、予防外交の機能を担う長老 会議の設置等、早期警戒態勢の整備を推進中。また西アフリカにおけるNEPADの実施機関としての機能 及びEUとの対話強化に取り組んでいる。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		人 0 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。

(注2) 我が国と年度が異なるため、12年度拠出金は01年に計上された(5.9%)。02年度報告書は未発表。